

JMU「商船建造撤退」表明から5か月 ～総力で対応を続けています～



第3回JMU関係対策特別委員会(6月10日：舞鶴商工会議所)

ジャパンマリンユナイテッド(株)(JMU)が、去る2月3日に、舞鶴事業所での「商船建造撤退」を発表されてから5か月になります。この“戦後最悪の緊急事態”による甚大な影響は、世界に感染拡大した「新型コロナ」も加わり、舞鶴市の経済を大きく揺がせています。この間、舞鶴商工会議所は、組織を挙げて執り得る限り最善最高の対応に努めました。現況と当面の予定についてお知らせいたします。

JMU舞鶴事業所の状況

JMU舞鶴事業所での商船建造は、来年度の第1四半期に予定されている「最終船の引き渡し」で終了するとされています。また、この6月末現在で残された建造数は4隻となっています。

JMU従業員については、業務終了にともない設計部門で配置転換等が始まりました。また、塗装・艀装等の製造部門の方々についても、会社による「内示」が行われています。

舞鶴商工会議所では、「舞鶴への就職希望者は一人たりとも市外に出さない」を基本にして、関係機関とともに「雇用支援」に総力で対応に努めています。

3回目のJMU特別委員会を開催

6月10日舞鶴商工会議所で、第3回「JMU関係対策特別委員会(委員長：今安副会頭、11人)」を開催しました。会議では、JMU関連情報の共有と7月11、12日に開催を予定している「第2回JMU関係従業員と会員事業所面談会」の基本計画を了承するとともに、去る3月12日に設置した、本特別委員会の活動終了が決定されました。

この特別委員会の終了については、設置を提唱した

小西会頭から「最悪の緊急事態を踏まえ、最善最高の対応の一環として委員会を設置した。委員各位には中身の濃い役割を果たしていただき感謝している。様々な情報発信とともに雇用を支援する“面談会”の実現など、所期の目的は達成した。当初予定のとおり、本日で活動を終了としたい」との発言があり、全員異議なく了承されたものです。

特別委員会は終了となりましたが、JMU対応については、商工会議所として、総合経済団体の機能を発揮しながら、引き続き府や市等とともに全力で対応することにしています。

7月11、12日に第2回面談会を実施

第2回のJMU側の従業員と、会員事業所の面談会を7月11日(土)と12日(日)に実施します。前回は、業務完了が早かった設計部門の方々を対象でした。今回については、それ以外のJMU製造部門従業員のほか、構内の関係会社や取引会社等の従業員にも対象を広げ、舞鶴市内への就職希望者の雇用確保を目指して行います。

現在、面談会に参加する従業員の皆様と会員事業所との面談日程について、舞鶴市やハローワーク等と最終調整を進めています。